本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

TWINCEPT

ワールドタイム／30件のテレメモ／アラーム・時報／ストップウオッチ

2359 * JA

取扱説明書

2359

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

◆本機の特長◆

●アナログ＆デジタル時計

アナログ時計の文字板にデジタル表示が浮き上がります。
デジタル表示を消して、アナログ時計としても使えます。

● EL バックライト

暗いところでもボタン１つで表示を明るく照らします。

●テレメモ

最大 30 件の名前＆電話番号を記憶します。

●ワールドタイム

世界 27 都市（29 タイムゾーン）の時刻がわかります。

●アラーム・時報報知

任意の時間にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。

●ストップウオッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



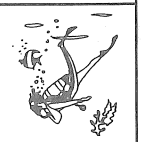
⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



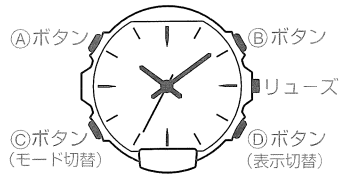
目次

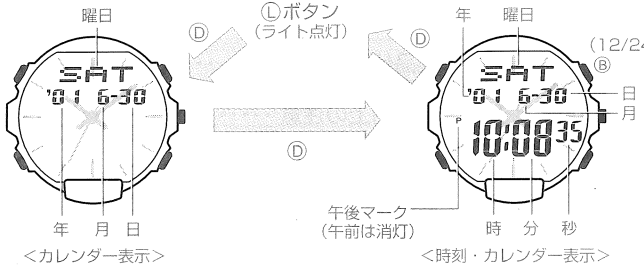
安全上のご注意	表紙裏面
操作のしくみと表示の見方	4
デモ（デモンストレーション）機能について	6
ライト点灯について	6
テレメモの使い方	7
ワールドタイムの使い方	10
アラーム・時報の使い方	12
ストップウオッチの使い方	14
時刻・カレンダーの合わせ方	15
製品仕様	18
備忘録	20
ご使用上の注意	21
お手入れについて	23
電池交換について	23

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※テレメモモード、アラームモードのまま、ボタン操作せずに2～3分経過すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード



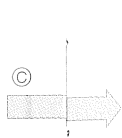


★表示切替について
Ⓓボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

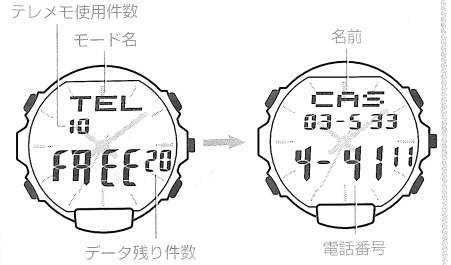
★ 12/24 時間制表示切替について
<時刻・カレンダー表示>のとき、Ⓑ ボタンを押すごとに 12 時間制表示（午前／午後 P）と 24 時間制表示（24）とが切り替わります。

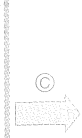
（曜日の見方）

SUN：日	MON：月
TUE：火	WED：水
THU：木	FRI：金
SAT：土	

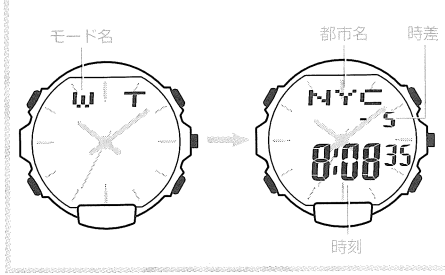


テレメモモード





ワールドタイムモード





アラームモード

ストップウオッチモード



■ デモ(デモンストレーション)機能について

本機は工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能*」に設定されています。
デモ機能中はモード切替等の操作はできません。

*「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●デモ機能の解除

Ⓒボタンを1～2秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。

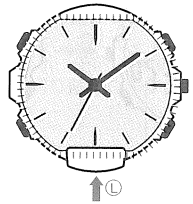
●デモ機能の設定

解除時と同様にⒸボタンを1～2秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。



■ ライト点灯について
(暗い場所で表示を見るには)

どのモードでも、Ⓛボタンを押すと文字板が約2秒間発光します。
➡暗いところでも、表示を見ることができます。
※Ⓛボタンを押し続けても2秒以上は発光しません。



〈注意事項〉
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためにELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

テレメモの使い方

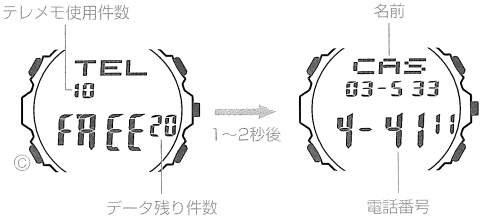
Ⓒボタンを押して、テレメモモードにします。

■ テレメモとは

名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。
本機は、名前8文字、電話番号12桁のデータを最大30件まで記憶できます。

データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探すときもたいへん便利です(9ページ「テレメモデータの呼び出し」参照)。

テレメモモードに切り替えると、テレメモ使用件数とデータ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

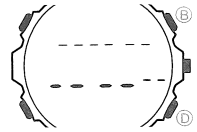


■ データを入力する

1件あたり、名前は8文字、電話番号は12桁まで入力できます。

(1)空きページ表示にする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



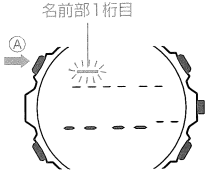
<空きページ表示>

★データ未入力のときは自動的に空きページ表示になります。
★データが入力してあるときはⒹまたはⒷボタンを押して空きページ表示を探します。

〈ご注意〉
30件すべて入力してあるときは「FULL表示」となり、空きページ表示になりません。9ページ「データ消去」を参照して不要なデータを消しておいてください。

(2)データ入力をはじめる

Ⓐ ボタンを1～2秒間押します



➡名前部1桁目が点滅します。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

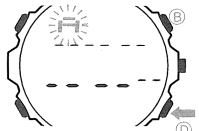
(3)名前部の入力（最大８文字まで）

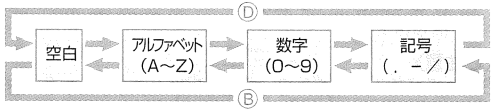
名前部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

文字を選ぶ Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が以下の順でかわりますので、表示させたい文字を選びます。

※Ⓑ ボタンを押すと逆方向に進みます。

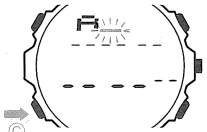




桁を選ぶ Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、文字を入力したい桁を点滅させます。

➠名前部の入力が終わりましたら、Ⓒボタンを押して点滅桁を電話番号部に移動させます。



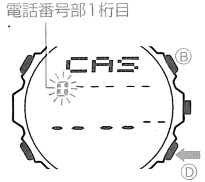
(4)電話番号部の入力（最大 12 桁まで）

電話番号部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

数字を選ぶ Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

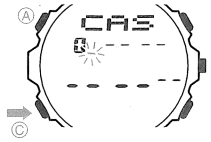
Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所に数字が表示されますので、表示させたい数字を選びます。

※Ⓑ ボタンを押すと逆方向に進みます。



桁を選ぶ Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、数字を入力したい桁を点滅させます。



(5)セットが終わりましたら、

Ⓐ ボタンを押します

➠“SORT” 表示後、テレメモモードに戻ります。

※ セット後、Ⓐボタンを押すと自動的に名前の先頭から比較し、「空白→アルファベット→数字→記号(. －／)」の順で並び変わります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。

テレメモデータの呼び出し

テレメモモードのとき、

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➠Ⓓボタンを押すごとに、セット後に並び変えられた順番に進み、Ⓑボタンを押すごとに逆方向に進みます。

※Ⓓ ボタン、Ⓑ ボタンともにそれぞれ押し続けるとデータが早く進みます。

※名前が4文字以上のときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります（データの最後に “<” マークがつきます）。

データの修正／消去

1. Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して修正／消去したいデータを選びます
2. Ⓐ ボタンを１～２秒間押して、入力表示にします

●データ修正 → Ⓒ ボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ・Ⓑ ボタンで正しい文字・数字を表示させます。

●データ消去 → Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押します。確認音が鳴り、“CLR” 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続きデータ入力ができます。

※点滅表示のまま、２～３分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモモードに戻ります。

3. 修正／消去が終わりましたら、Ⓐボタンを押して点滅を止めます

ワールドタイムの使い方

Ⓒボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

■ワールドタイムとは

世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができる機能です。
また、都市ごとにサマータイムを設定できます。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻・カレンダーモードで基本時刻および都市名をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます（15ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）。

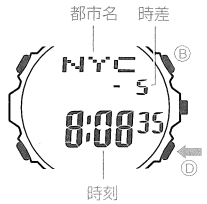
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動して表示されます。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制表示となります。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓑまたは Ⓓボタンを押すごとに都市名が呼び出されます

※Ⓑ・Ⓓボタンをそれぞれ押し続けると都市名が早送りします。



■サマータイム（DST）の設定

(1)ワールドタイムモードのとき、

Ⓑ または Ⓓ ボタンを押して、サマータイム設定したい都市を選びます

(2) Ⓐボタンを1～2秒間押します

➡“DST”マークが点灯して、サマータイム設定になります。



※サマータイム設定時の表示は通常の時刻より1時間早まります。“DST”はサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。
※“GMT”表示のときはサマータイム設定はできません。
※“DST”マークが点灯しているときにⒶボタンを1～2秒間押すと、通常の時刻に戻ります。

■都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
----		-11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	-9	ノーム	JED	ジッダ	+3	クウェート、モスクワ
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+3.5	
				DXB	ドバイ	+4	アブダビ
DEN	デンバー	-7	エルパソ、エドモントン	KBL	カブール	+4.5	
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、メキシコシティ	KHI	カラチ	+5	
				DEL	デリー	+5.5	
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、マイアミ、ボストン	DAC	ダッカ	+6	
				RGN	ヤンゴン	+6.5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス	HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
----		-2					
----		-1	アゾレス諸島	TYO	東京	+9	ソウル、平壌
GMT		±0	＜グリニッジ標準時＞	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	±0	ダブリン	SYD	シドニー	+10	グアム
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2000年6月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

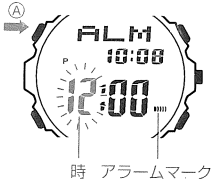
■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを1～2秒間押します

➡「時」が点滅します。

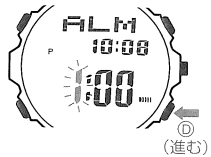
※ このときアラームマーク（))))）が点灯します。



(2) Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すと「時」が進みますので、セットしたい時刻を表示させます。

※ 押し続けると早送りします。



★「時」のセットのとき午前／午後（P）にご注意ください。

★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様にⒹボタンを押して数字を選びます。

※ もう一度Ⓒボタンを押すと「時」が点滅します。



(4)セットが終わりましたら、

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ・Ⓛ ボタンのいずれか1つを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

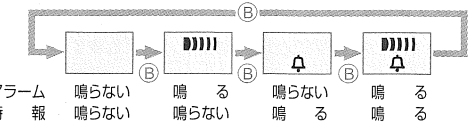
アラームモードのときにⒹボタンを押し続けると、押し続けている間、電子音が鳴ります。



■アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯／消灯します。
それぞれのマークが点灯しているときが“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。





※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。

ストップウオッチの使い方

Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

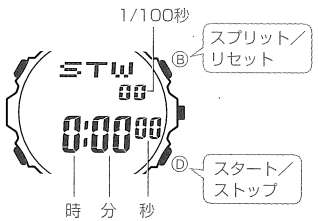
本機のストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓓ ボタンを押すごとに計測開始／終了します

※計測中にⒷボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度Ⓑボタンを押すとスプリットが解除されます。
*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。
※計測ストップ、スプリット計測時はボタンを押したタイミングよりもやや遅れて表示されることがありますが、計測は正しく行なわれています。



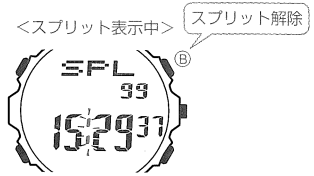
●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の手順で合わせてください。

■デジタル部時刻の合わせ方

(1)時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓐボタンを1～2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2)「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ／進みの調整

時報に合わせて、Ⓓボタンを押します

➡「00」秒からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります（時報は「時報サービス電話117番」が便利です）。

(3)サマータイム（DST）の設定

Ⓒ ボタンを押します

➡"DST" マークが点滅します。

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。



(4)都市の設定

Ⓒ ボタンを押します

➡都市名が点滅します。

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市名が切り替わります（11ページ「■都市コード一覧」参照）。

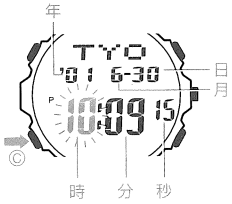
例）東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市名を"TYO"に設定します。

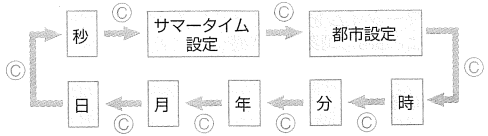


(5)「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒ ボタンを押します

➡点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓒ ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。





b. Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。



上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。

★「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(6)セットが終わりましたら、

Ⓐ ボタンを押します

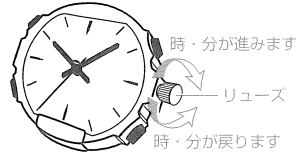
➡点滅が止まり、セット完了です。

※セット後は、<時刻・カレンダー表示>になります。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■アナログ（針）部の合わせ方

(1)リューズを引いて、秒針を止めます。



➡リューズを回して時刻を合わせます。

※右回り、左回りどちらに回しても構いません。

(2)デジタル時刻の「秒」が秒針の止まっている位置と同じになったときにリューズを押し込みます。

※秒針が±1秒程度の遅れ（進み）が生じることがありますが、精度には影響ありません。

●デュアルタイム

アナログ時刻とデジタル部の時刻を別の時刻（海外の時刻など）にセットすれば、デュアルタイムとして使うことができます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±30秒以内

基本機能：時刻表示
アナログ部　時・分・秒（3針）
デジタル部　時・分・秒、
午前／午後（P）／
24時間制表示（24）
カレンダー表示
年・月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000~2039年)

テレメモ機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）
を最大30件までメモリー、
自動ソート機能、
メモリー使用件数／残り件数表示

ワールドタイム機能：世界27都市（29タイムゾーン）
の時刻を表示
サマータイム設定機能付き

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒
99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリットタイム計測、
1；2着同時計測

その他：自動復帰機能、
12/24時間制表示切替、
サマータイム設定機能、
モニターアラーム、デモ機能、
ELバックライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：CR-2016（電池別途販売）
※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

電池寿命：約2年
（1日あたりELバックライト2秒間、電子音を20秒間使用した場合）

memo

備忘録

万一に備え、メモリーしてあるデータをこの備忘録にメモしておくことをおすすめします。

name	TEL.

name	TEL.

ご使用上の注意

■防水性

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください（特殊な治具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁気

● 家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ／進みが生じることがあります。

■薬品類

- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有料となります）。